

【笹川(ささがわ)発電所】(大野川水系)

笹川発電所は、大正15年、大分県竹田市に建設された大分エリア最小(90kW)の水路式の水力発電所です。

今回のツアーでは、通常、充水されている水路の水を抜き、水路内を歩行し水路内部点検(模擬)や社員による発電機の起動停止操作を見学、水力発電の仕組みを実機により体験等を楽しめます。

〔笹川発電所全景〕



〔笹川発電所水路〕



【夜明(よあけ)ダム】(筑後川水系)

夜明ダムは、大分県日田市と福岡県うきは市の県境に位置し、昭和29年に建設された九州電力の発電用で、高さ15mの重力式コンクリートダムです。

戦後の拡大する電力需要を見越して、昭和27年より建設に着手し、工期2年という短期間で完成しました。

今回のツアーでは、点検時に使用する管理橋を右岸から左岸へ歩行体験等を楽しめます。

〔夜明ダム全景〕



〔管理橋歩行イメージ〕



【大分(おおいたがわ)川ダム】(大分川水系)

大分川ダムは、大分県大分市に国土交通省が建設中の高さ91.6mのロックフィルダムで大分川水系最大規模です。

現在、試験湛水中であり、4月頃に洪水時の最高水位まで到達する見込みです。

〔大分川ダム全景 国土交通省提供〕



【沈墮(ちんだ)の滝】(大野川水系)

沈墮の滝は、大分県豊後大野市のジオパーク認定箇所の一つであり、柱状節理が並ぶ景観は絶景ポイントです。滝の高さは水面から20mあります。

また、明治42年に豊後電気鉄道株式会社によって建設された石造りの旧沈墮発電所の跡があり近代化遺産に指定されています。

〔沈墮の滝全景〕



〔旧沈墮発電所跡〕



【下笠(しもうけ)ダム】(筑後川水系) 〔下笠ダム全景 国土交通省ホームページより〕

下笠ダムは、大分県日田市と熊本県小国町にまたがる高さ98.0mのアーチ式コンクリートダムで、昭和28年の西日本水害による甚大な被害を受け建設された多目的ダムで、国交省が管理しています。

ダム湖内の遊覧船でダムの真下まで船を進め、そこから見上げる迫力は一見の価値があります。

